

令和4年度 不祥事防止に係る校内研修の実施状況

3月20日現在

3月20日（月）	不祥事防止委員会 （校長・教頭）	教員の性行動のセルフチェック表について 今年度の不祥事防止の取組の振り返り	教員の性行動のセルフチェック表について校長から説明があり、各自で実施した。 今年度のまとめとして不祥事防止のためのチェックリストを個人で実施し、各グループで今年度の不祥事防止に係る重点取組について協議し振り返りを行い、発表した。そして、今年度の服務規律の確保に係る年間計画と不祥事防止のための行動計画を見直し、次年度への改善計画を立案した。
2月15日（水）	教務部（石丸）	飲酒運転の防止 交通事故防止	千葉県警の資料を用いた。飲酒運転や酒気帯び運転をした場合の行政処分や罰則を確認し、加害者の手記を読み、飲酒運転や交通事故の防止についての意識を高めた。
2月15日（水）	生徒指導部 （ジョーンズ）	個人情報の取扱いについて	各グループで個人情報にはどんなものがあるか協議、次に例をみて、それを保管する場合や破棄する場合のの注意点について具体的に各グループで協議・発表し、全体で確認した。
1月5日（木）	スクールカウンセラー（澤井）	デジタルネイティブ世代の心的問題について～適切なデジタル機器利用に向けて～	スクールカウンセラーを講師に、デジタルネイティブ世代の心的問題について理論学習を行い、架空事例をもとに、各グループで事例の問題点とその対応について協議・発表した。また、ICT利用と発達障害の関係についても講義を受け、適切なデジタル機器利用についての具体的な指導について協議し、全体で確認した。
1月5日（木）	防災担当（ジョーンズ）	不審者対応対策	危機対応マニュアルの不審者対応について確認した。協議し、不審者が校内に侵入した場合の放送での暗号を作成した。これに基づき、1月10日（火）に不審者対応に関する避難訓練を実施した。
12月23日（金）	不祥事防止委員会 （教頭）	服務規律の確保に向けて	「呉市職員倫理基準マニュアル」を読んで禁止行為について再確認し、教育公務員としての自覚を高めた。また、本年度の本校の不祥事防止の重点取組について何%達成できたか、できていないところは何か協議し確認した。服務を遵守することが、信頼される学校づくりの基礎であることを再確認した。
11月21日（水）	生徒指導部（川下）	パワーハラスメント 防止に向けて	パワーハラスメントの定義や現状について全員で再確認した。事例を各グループでパワーハラスメントになるかどうか、どのように対応すればよかったのか協議し発表した。
10月26日（水）	不祥事防止委員会 （教頭）	不祥事防止に向けての 緊急臨時研修	非違行為を行った場合の社会に与える影響の多さ等について認識し、その職責の重さを改めて自覚するとともに、全教職員で共通認識を図ることを目的に実施。R2、R3、R4年の記者発表資料をまとめたものを配付し、グループで分析し、同じ事件が続いていることを確認した。「服務に係る通知や取組が多くある一方でなぜ懲戒処分がなくなるのか」についてグループで協議・発表した。その後、市教委提供の資料「教職員の服務と関係法令」「校務外における行為に係る刑罰の具体について」「信頼される教職員であるために～わいせつ行為ゼロ！～」「懲戒処分の指針」「求められる教職員像」「広島県教員等資質向上指標」を配付、必要な箇所を読み合わせ、各グループで当事者意識を持つとはどういうことか協議し発表した。
9月29日（木）	不祥事防止委員会 （教頭）	服務規律の厳正確保 適正な勤務について	タブレットで「勤務時間の適正管理（令和4年4月）」及び「Q&A」を確認しながら、各グループで服務に関する問題を解き発表した。教育資料の是正指導の箇所を参考に、ベテランから若手に是正指導を受ける前と後について話をしてもらい、今後は是正指導を風化させないためにどう行動するか協議した。
8月22日（月）	スクールカウンセラー（澤井）	自殺対策について	スクールカウンセラーを講師に、自殺の現状、自殺の未然防止・危機介入・事後対応について研修を行った。その後、共感的な関わり方について、視線対人恐怖症の男子生徒、泣きじゃくる、娘が自殺未遂で病院に搬送された母親等についてのロールプレイを行い、各グループで発表し実践力を高めた。
8月5日（金）	不祥事防止委員会	不祥事ゼロに向けての取組について1学期の振り返りと2学期の取組の確認	はじめに4月に全教職員で話し合った取組項目について個人でチェックシートに記入し、各学年でどれくらい達成できたか協議し発表した。達成度は94%であり、2学期以降の課題は机上の整理整頓を行い、個人情報等の管理をもっと徹底していくことを全教職員で確認した。最後に再度「広島県懲戒処分の指針」を確認した。

6月29日（水）	不祥事防止委員会（教頭）	わいせつ、セクシュアル・ハラスメントに関する緊急不祥事防止研修	最初に「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する基本的な指針のはじめに」を全員で読み合わせ、この指針の概要について説明した。次に懲戒処分指針の改正箇所について読み合わせをおこなった。そして、ここ数年の懲戒処分・新聞報道をみて各グループで原因を分析し、岡山県教委の「不祥事発生背景の分析と不祥事防止への取組」参考に「手段」と「場所」と「自制心の欠如」がそろわないためには、具体的にどうすればよいか協議し発表した。最後に、懲戒処分かそうでないかグレーゾーンだと思われる事例について、そのような場合、本校では具体的にどう行動すれば、わいせつ、セクシュアル・ハラスメントを防止できるか協議し発表し、絶対に生徒や保護者の信頼を失うことをしない、風通しのよい職場にすることを確認した。
6月29日（水）	教務部（磯方）	体罰禁止等生徒指導の在り方	事例をみて体罰に当たるかどうかを各学年で協議し、全体で結果を確認した。次に各事例の要因を分類した。最後に、全員で事例研究を行い、当該教諭の心情、生徒・保護者の心情・事案による影響等を分析し発表した。懲戒処分指針の体罰に関わる部分を読み合わせ、学校全体で体罰防止を進めて行くことを確認した。
5月25日（火）	不祥事防止委員会（教頭）	安全確保義務、安全配慮義務 危機管理マニュアル	休日の部活動におけるケガ、登校中の交通事故、管理職不在時の台風接近時に対応について、グループに分かれ次の3点について協議しまとめた。（1）事例に対してどういった役割・対応が必要かを考え、「だれが」「どんな役割をするか」「どのように行動するのか」を協議する。（2）必要な役割を考え、対応を時系列で書く。（3）具体的な動きについて示し、矢印等で連携を表す。次に各グループで発表し、評価し、危機管理マニュアルを身ながら重要なポイントを全員で確認した。
4月5日（火）	不祥事防止委員会（教頭）・情報管理担当（沖中）	情報（ICT）の管理について	本校の個人情報の取扱い規定、インターネットの取扱い規定、パソコン及びタブレット運用規定を確認した。その後、各グループで、生徒のタブレット端末の活用ルールを確認しながら、想定される問題とその対策について協議し発表した。
4月4日（月）	不祥事防止委員会（教頭）	不祥事に関する本校のリスクと不祥事ゼロに向けて	昨年度の記者発表資料（懲戒処分）をまとめたものを配付し、一番気になった記事についてペアで原因分析し、自分の性格・特徴を踏まえて原因分類から自分が不祥事を起こすとしたらどういったことが考えられるか、どうすれば防ぐことができるかを協議し発表した。その後、グループになり、本校で起こるとしたらどのような不祥事事案か、どうすれば防ぐことができるか協議し、具体的な対策とともに、不祥事防止のためのキャッチフレーズを各グループ毎で発表し、共通理解を図った。今年度のキャッチフレーズは、「いつでも素直に」「忘れないルールと笑顔！」に決定。職員室、印刷室等に掲示し常に目にすることができるようにしたようにした。その後、本校の不祥事防止のための行動計画、年間研修計画を確認した。
4月4日（月）	不祥事防止委員会 総務部（事務：沖野）	学校諸費会計等について	各学年で前途資金で購入する場合のシミュレーションを行い、正しい購入の仕方手続きについて確認した。また学年会計の支払について、全生徒から集金できていない場合、どのように業者に支払をするか各学年で協議し、正しい会計処理について確認した。その後、まとめとして校内の学校諸費会計等取扱規程を読んで共通理解を図った。
4月4日（月）	不祥事防止委員会	危機管理、防災の取組について	タブレットを使用し、「大阪教育大学付属池田小学校事件の概要を概観し、池田小学校の不審事対応の研修について報告した。その後、本校の来校者の受付手順の確認を行い、危機管理マニュアルの変更点や本校のカギやUSBキー、家庭連絡票の管理について確認した。 次に「大川小学校判決の概要」を読み合わせ、大川小判決の意味するものを各グループで協議・確認した。危機管理の徹底に係る計画を読み合わせ、今年度の両城中学校防災週間と呉市防災週間に向けて、各教科や生徒会、教職員で取り組むことを協議し、防災に関わるカリキュラムマップを作成し、「いつも自分の命は自分で守ることを意識して生活している」と回答する生徒も割合を98%以上にすることを全員で確認した。
4月1日（金）	校長	地域に信頼される学校の構築～不祥事の根絶に向けて	教職員としての基本的な在り方について 法令等の遵守、生徒の人権の保護、情報管理の徹底 校務運営規程に則った組織運営、報告・連絡・相談・確認の徹底等